

関東信越厚生局長 殿

開設者名 山梨大学長 前田 秀一

特定機能病院山梨大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3の規定に基づき、平成22年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	61人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	219人	140人	334.4人	看護補助者	24人	診療エックス線技師	人
歯科医師	3人	7人	9.2人	理学療法士	5人	臨床検査技師	36人
薬剤師	28人	2人	30.0人	作業療法士	2人	衛生検査技師	人
保健師	人	人	人	視能訓練士	1人	その他	人
助産師	21人	1人	21.8人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看護師	459人	19人	472.8人	臨床工学技士	6人	医療社会事業従事者	4人
准看護師	人	人	人	栄養士	3人	その他の技術員	4人
歯科衛生士	1人	2人	2.6人	歯科技工士	1人	事務職員	76人
管理栄養士	4人	0人	4.0人	診療放射線技師	25人	その他の職員	74人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	480.4人	4.3人	484.7人
1日当たり平均外来患者数	1171人	64.3人	1235.3人
1日当たり平均調剤数	736.9剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	27人	・膿疱性乾癬	0人
・多発性硬化症	51人	・広範脊柱管狭窄症	4人
・重症筋無力症	57人	・原発性胆汁性肝硬変	24人
・全身性エリテマトーデス	81人	・重症急性膵炎	4人
・スモン	1人	・特発性大腿骨頭壊死症	13人
・再生不良性貧血	25人	・混合性結合組織病	9人
・サルコイドーシス	24人	・原発性免疫不全症候群	1人
・筋萎縮性側索硬化症	36人	・特発性間質性肺炎	2人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	57人	・網膜色素変性症	37人
・特発性血小板減少性紫斑病	45人	・プリオン病	3人
・結節性動脈周囲炎	17人	・肺動脈性肺高血圧症	3人
・潰瘍性大腸炎	56人	・神経線維腫症	5人
・大動脈炎症候群	8人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ピュルガー病	15人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・天疱瘡	12人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	2人
・脊髄小脳変性症	50人	・ライソゾーム病	1人
・クローン病	31人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	1人	・脊髄性筋委縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	60人	・球脊髄性筋委縮症	7人
・アミロイドーシス	2人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	8人
・後縦靭帯骨化症	25人	・肥大型心筋症	0人
・ハンチントン病	0人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	17人	・ミトコンドリア病	3人
・ウェゲナー肉芽腫症	2人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	46人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリーブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	17人	・黄色靭帯骨化症	2人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	22人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力有することを証する書類

1研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 千円	補助元又は委託元
グルタミン酸トランスポーターを介したグリア細胞の網膜神経節細胞死調節の研究	古屋 敏江	眼科	2,080	補委 文部科学省
BMP-2遺伝子を用いた骨膜伸展骨形成法	小田 充匡	歯科口腔外科	1,170	補委 文部科学省
アレルギー性鼻炎治療の新しい標的の可能性のあるTSLPIについての検討	宮田 政則	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2,080	補委 文部科学省
siRNA mTORによる静脈グラフト内膜肥厚抑制の検討	榊原 賢士	集中治療部	780	補委 文部科学省
C型肝炎患者肝細胞癌の転移機構解明を目的としたMTA-1発現に関する研究	浅川 真巳	集中治療部	1,560	補委 文部科学省
T細胞性白血病におけるLMO2過剰発現の機序と生物学的意義に対する検討	廣瀬 衣子	小児科	1,690	補委 文部科学省
急性リンパ性白血病に発現される骨髄球系抗原の解析	赤羽 弘資	小児科	1,560	補委 文部科学省
乳腺神経内分泌癌(B-NET)の発生機構およびその生物学的特性の病理学的解析	川崎 朋範	人体病理学	1,300	補委 文部科学省
エピジェネティクス制御による甲状腺癌の分化誘導と上皮間葉転換抑制に関する研究	近藤 哲夫	人体病理学	2,470	補委 文部科学省
小胞体ストレスと破骨細胞	小山 賢介	整形外科	2,470	補委 文部科学省
大うつ病に対する片側性ECTの評価:脳血流と認知・記憶の関連研究	安田 和幸	精神科	1,170	補委 文部科学省
甲状腺ホルモン受容体による糖尿病マウス遺伝子治療の試み	古屋 文彦	内科学3	2,340	補委 文部科学省
A型ボツリヌス毒素は尿路の機械的センサーを抑制する?	工藤 祥司	泌尿器科	1,170	補委 文部科学省
性行為HIV感染におけるToll-like receptorの役割	小川 陽一	皮膚科	910	補委 文部科学省
HSV感染防御における皮膚由来マスト細胞の役割の解明	青木 類	皮膚科	910	補委 文部科学省
担癌宿主におけるSTAT3阻害剤(GRIM-19)を用いた抗腫瘍効果の研究	岡本 崇	皮膚科	3,250	補委 文部科学省
甲状腺癌とくに未分化癌におけるアデノシンレセプターの分子病理学的解析	中澤 匡男	病理部	780	補委 文部科学省
退行性椎間板疾患における炎症性サイトカインTSLPの役割の解明	大場 哲郎	リハビリテーション部	3,250	補委 文部科学省
卵およびES細胞質を用いたがん細胞の初期化・再分化療法の確立に向けての基礎的検討	深澤 宏子	産婦人科	1,170	補委 文部科学省
小児難治性白血病に対する臍帯血ナチュラルキラー細胞による抗白血病効果	本名(大城) 浩子	小児科	2,080	補委 文部科学省
抗うつ療法が酸化ストレスマーカーおよび脳由来神経栄養因子に及ぼす効果	玉置 寿男	精神科	1,560	補委 文部科学省
食道癌に対するHerceptin抗体療法とperforin耐性の関与	河口 賢彦	外科学1	2,080	補委 文部科学省
頭頸部癌におけるB7-H3分子発現の免疫学的意義と臨床応用に関する研究	森山 元大	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,170	補委 文部科学省
頭頸部癌微小環境におけるMDSCの分化・成熟と免疫抑制機構の解明	山本 卓典	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,040	補委 文部科学省
大規模ウイルスゲノムワイド解析による慢性C型肝炎病態の包括的解明	榎本 信幸	内科学1	5,850	補委 日本学術振興会
新規血小板活性化受容体CLEC-2と生体内リガンドポドプランニンの血栓症での役割	尾崎 由基男	臨床検査医学	1,300	補委 日本学術振興会
悪性黒色腫に対する新たな治療法開発の基礎研究	島田 眞路	皮膚科	4,680	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 千円	補助元又は委託元
下部尿路知覚神経伝達におけるイオンチャネルの役割と新規治療応用に関する研究	武田 正之	泌尿器科	3,120	補委 日本学術振興会
ホスホリパーゼA2受容体の解析による心血管病の成因解明と新規治療薬の開発	久木山 清貴	内科学2	8,710	補委 日本学術振興会
頭頸部癌における癌幹細胞の免疫学的解析と治療への応用	近松 一郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	650	補委 日本学術振興会
タキサン系抗癌剤耐性分子の臨床的意義の解明と治療への応用	増山 敬祐	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,300	補委 日本学術振興会
原発開放隅角緑内障感受性遺伝子の検索—ESR2遺伝子多型解析—	間瀬 文彦	眼科	1,170	補委 日本学術振興会
網膜疾患診療経過の客観的評価システム開発	飯島 裕幸	眼科	1,170	補委 日本学術振興会
重症患者に対する連続腸音解析による腸蠕動運動モニタリング法の開発とシステムの構築	松田 兼一	救急集中治療学	2,080	補委 日本学術振興会
血中sCLEC-2測定法の確立と臨床応用に向けた検討:動脈血栓症の予防を目指して	長田 誠	検査部	3,380	補委 日本学術振興会
急性骨髄性白血病におけるNotch1シグナルの検討:新たな分化誘導療法をめざして	中村 誠	小児科	1,430	補委 日本学術振興会
難治性小児白血病に対する移植片対白血病効果における細胞傷害因子の臨床的意義の解明	犬飼 岳史	小児科	1,170	補委 日本学術振興会
甲状腺高悪性度腫瘍(低分化癌・未分化癌)の遺伝子異常プロファイルの多角的解析研究	加藤 良平	人体病理学	1,300	補委 日本学術振興会
関節リウマチの滑膜増殖におけるHER2の役割と抗HER2抗体による治療の可能性	安藤 隆	整形外科	1,599	補委 日本学術振興会
最軽度アルツハイマー病脳における酸化傷害:認知機能障害発現との関連性	布村 明彦	精神科	1,430	補委 日本学術振興会
経頭蓋直流刺激のうつ病治療の可能性についての研究	本橋 伸高	精神科	800	補委 日本学術振興会
グリア病としての緑内障性視神経障害の発症解明と治療法探索	柏木 賢治	地域医療学	1,430	補委 日本学術振興会
次世代大規模シーケンシング技術による慢性ウイルス性肝疾患の病態解明	榎本 信幸	内科学1	1,000	補委 日本学術振興会
脳虚血後神経新生におけるFABPと制御因子の解析	杉田 正夫	脳神経外科	1,820	補委 日本学術振興会
核内転写因子PPAR γ の虚血性神経細胞障害保護機構の解明	木内 博之	脳神経外科	1,040	補委 日本学術振興会
脊髄損傷後神経再生におけるFABPと制御因子の解明	内田 幹人	脳神経外科	1,430	補委 日本学術振興会
閉塞膀胱における膀胱の機能不全と小胞体ストレスとの関連についての研究	澤田 智史	泌尿器科	780	補委 日本学術振興会
低活動膀胱に対する中枢性及び末梢性神経ペプチド受容体を標的とした治療戦略	芳山 充晴	泌尿器科	2,340	補委 日本学術振興会
ELシート発光ブレードの開発と新しい小切開手術の開拓	野村 照久	泌尿器科	1,200	補委 日本学術振興会
TNF- α とスーパーオキシドからみた、ウリナスタチンによる心筋保護効果の解明	小口 健史	麻酔科	2,080	補委 日本学術振興会
日本におけるモニタード・アナesthesia・ケアの安全性と有効性の検討	飯嶋 哲也	麻酔科	1,820	補委 日本学術振興会
肝類洞機能を重視した新しい視点に基づく人工肝臓補助システムの開発	藤井 秀樹	外科学1	1,430	補委 日本学術振興会
新規癌拒絶抗原を用いた食道癌に対する癌ワクチン療法の開発	河野 浩二	外科学1	910	補委 日本学術振興会
炎症防御における自然免疫系を介した臓器相互関連の解析と、その臨床応用に関する研究	河野 寛	外科学1	1,430	補委 日本学術振興会
レーザー加工による極細繊維とメビオールジェルを用いた人工的生体血管の作成	進藤 俊哉	外科学2	1,300	補委 日本学術振興会
骨髄増殖性疾患における骨髄内低酸素環境破壊と正常造血抑制機構の解明	桐戸 敬太	血液・腫瘍内科	910	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 千円	補助元又は委託元
体細胞核移植技術を応用した性ステロイドホルモン受容体遺伝子発現機構の解析	平田 修司	産婦人科	1,560	補委 日本学術振興会
骨形成活性を有する生体材料を応用した骨膜伸展骨形成法の開発	原田 清	歯科口腔外科	1,000	補委 日本学術振興会
てんかん児の前頭葉機能障害に関する神経機能解剖学的研究	金村 英秋	小児科	780	補委 日本学術振興会
11q23転座型ALLと、それを維持する骨髓微小環境の生物学的特性と機序の解明	古市 嘉行	小児科	1,950	補委 日本学術振興会
小児難治性悪性腫瘍に対する同種ナチュラルキラー細胞による抗腫瘍効果	合井 久美子	小児科	1,430	補委 日本学術振興会
椎間板変性解明への分子生物学的アプローチと新しい治療法の確立	波呂 浩孝	整形外科	520	補委 日本学術振興会
拒絶状態における免疫制御機序、特にTh17細胞の分布と誘導機序の解明	水上 佳樹	外科学1	2,340	補委 日本学術振興会
薬剤溶出性ステントによる気絶または冬眠心筋の機能回復に対する阻害作用に関する研究	尾畑 純栄	内科学2	910	補委 日本学術振興会
C型肝炎ウイルス蛋白と相互作用する脂質ラフト構成宿主蛋白の解析	井上 泰輔	内科学1	1,430	補委 日本学術振興会
データマイニング解析、ウイルス遺伝子解析によるC型肝炎の病態解明	黒崎 雅之	内科学1	1,430	補委 日本学術振興会
C型肝炎ウイルス治療抵抗性における自然免疫の関与と難治要因の病態解明	朝比奈 靖浩	内科学1	1,430	補委 日本学術振興会
HCVゲノム解析による治療効果予測マーカーの開発	坂本 稔	内科学1	1,430	補委 日本学術振興会
抗ウイルス効果を規定するC型肝炎ウイルスゲノム領域の機能解明	前川 伸哉	内科学1	1,430	補委 日本学術振興会
TCF7L2遺伝子の発現と糖尿病発症における役割についての研究	會田 薫	内科学3	780	補委 日本学術振興会
GAD65-encodingDNAワクチンを用いた1型糖尿病の予防	小林 哲郎	内科学3	780	補委 日本学術振興会
劇症1型糖尿病と自己免疫性膵炎に認められる膵特異的自己抗体の意義と臨床応用	遠藤 登代志	内科学3	910	補委 日本学術振興会
インドールアミン2,3-ジオキシゲナーゼの悪性グリア免疫回避機構への影響	佐藤 英治	脳神経外科	130	補委 日本学術振興会
皮膚悪性腫瘍の発生におけるAIDの関与	原田 和俊	皮膚科	1,170	補委 日本学術振興会
ヒトCD34陽性細胞移植NOGマウスを用いた経膈/経皮ウイルス感染モデルの開発	川村 龍吉	皮膚科	910	補委 日本学術振興会
細胞内導入ペプチドを用いた難治性皮膚疾患に対する治療薬開発の基礎研究	柴垣 直孝	皮膚科	910	補委 日本学術振興会
血小板におけるアスピリン抵抗性の新規検査法の開発および糖尿病患者での解析	高野 勝弘	臨床検査医学	1,820	補委 日本学術振興会
新規血小板活性化受容体CLEC-2の第二リガンドの同定とその生体内機能の検討	井上 克枝	臨床検査医学	650	補委 日本学術振興会
新しい測定原理に基づく血小板凝集能検査の自動化法ならびに全血法の開発	佐藤 金夫	臨床検査医学	2,210	補委 日本学術振興会
ウイルス性肝炎の病態に応じたウイルス側因子の解明と治療応用	榎本 信幸	内科学1	62,000	補委 厚生労働省
ヒト肝細胞キメラマウスを用いた治療抵抗性の肝炎に関する研究	前川伸哉	内科学1	3,000	補委 厚生労働省
ウイルス性肝炎に対する分子標的治療創薬に関する研究	前川伸哉	内科学1	25,000	補委 厚生労働省
データマイニング手法を用いた効果的なC型肝炎治療法に関する研究	坂本稔	内科学1	800	補委 厚生労働省
C型肝炎における新規治療法に関する研究	坂本稔	内科学1	1,500	補委 厚生労働省
肝炎に関する全国規模のデータベース構築に関する研究	井上泰輔	内科学1	2,000	補委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 千円	補助元又は委託元	
				補助元	委託元
スモンに関する調査研究(山梨県におけるスモン患者の病態)	瀧山 嘉久	神経内科	700	補 委	厚生労働省
リアルタイムモニター花粉数の情報のあり方の研究と舌下ペプチド・アジュバント療法の臨床研究	増山 敬祐	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,500	補 委	厚生労働省
高精度治療技術による低リスク高線量放射線治療に関する臨床研究	大西 洋	放射線医学	500	補 委	厚生労働省
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に関する標準的治療法の確立に関する研究	座光寺 秀典	泌尿器科	250	補 委	厚生労働省
精神科薬物療法アルゴリズムの最適化と均てん化に関する研究	本橋 伸高	精神科	200	補 委	厚生労働省
がんの診療科データベースとJapanese National Cancer Database(JNCDB)の構築と運用	大西 洋	放射線医学	400	補 委	厚生労働省
抗HIV薬の適正使用と効果・毒性に関する基礎的研究	川村龍吉	皮膚科	2,500	補 委	厚生労働省
高悪性度筋層非浸潤癌に対する経尿道的膀胱腫瘍切除後の治療法の確立に関する研究	武田 正之	泌尿器科	250	補 委	厚生労働省
運動失調症の病態解明と治療法開発に関する研究	瀧山 嘉久	神経内科	1,500	補 委	厚生労働省
気分障害の治療システムの開発と検証に関する研究	本橋 伸高	精神科	850	補 委	国立精神・神経センター
C型肝炎ウイルス増殖機構解析によるsiRNA治療標的の同定	榎本 信幸	内科学1	2,000	補 委	(独)医薬基盤研究所
頭頸部扁平上皮癌根治治療後のTS-1補助化学療法の検討 —多施設無作為化比較試験—	増山 敬祐	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	105	補 委	(財)先端医療振興財団
本邦における低用量アスピリンによる上部消化管合併症に関する調査研究—心筋梗塞、脳梗塞などの動脈血栓性疾患を対象として—	木内 博之	脳神経外科	160	補 委	(財)循環器病研究振興財団
術後補助化学療法におけるフッ化ピリミジン系薬剤の有用性に関する比較臨床試験(治療切除直腸癌に対するUFT療法とTS-1療法との比較検討)	藤井 秀樹	外科学1	13	補 委	(財)がん集学的治療研究財団
「StageⅢ結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのUFT/Leucovorin療法とTS-1療法の第Ⅲ相比較臨床試験および遺伝子発現に基づく効果予測因子の探索的研究」	飯野 弥	外科学1	157	補 委	(財)先端医療振興財団
治療切除結腸癌(StageⅢ)を対象としたフッ化ピリミジン系薬剤を用いた術後補助化学療法の個別化治療に関するコホート研究	飯野 弥	外科学1	73	補 委	(財)先端医療振興財団
計101件					

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人からの補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請する前年度おこなった高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名欄」は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Intervirology. 2010;53(1):66-9. Epub 2010 Jan 5.	HCV genetic elements determining the early response to peginterferon and ribavirin therapy.	Enomoto N, Maekawa S.	第一内科
J Gastroenterol. 45: 523-536, 2010	Comparison of HCV-associated gene expression and cell signaling pathways in cells with or without HCV replicon and in replicon-cured cells.	Nishimura-Sasaki Y, Sakamoto N, Mogushi K, Satoshi N, Nakagawa M, Itsui Y, Tasaka-Fjita M, Onuki-Karakama Y, Suda G, Mishima K, Yamamoto M, Ueyama M, Funaoka Y, Watanabe T, Azuma S, Sekine-Osajima Y, Kakinuma S, Tsuchiya K, Enomoto N, Tanaka H, Watanabe M.	第一内科
J Gastroenterol. 45: 656-665, 2010	Mutations in the interferon sensitivity determining region and virological response to combination therapy with pegylated-interferon alpha 2b plus ribavirin in patients with chronic hepatitis C-1b interferon.	Nakagawa M, Sakamoto N, Ueyama M, Mogushi K, Nagaie S, Itsui Y, Azuma S, Kakinuma S, Tanaka H, Enomoto N, Watanabe M.	第一内科
J Gastroenterol. 2011 Mar;46(3):401-9. Epub 2010 Sep 10.	Pretreatment prediction of response to peginterferon plus ribavirin therapy in genotype 1 chronic hepatitis C using data mining analysis.	Kurosaki M, Sakamoto N, Iwasaki M, Sakamoto M, Suzuki Y, Hiramatsu N, Sugauchi F, Yatsuhashi H, Izumi N.	第一内科
Circulation journal 74(8):1644-1650	Comparative study of bezafibrate and pravastatin in patients with coronary artery disease and high levels of remnant lipoprotein.	Keita SANO, Takamitsu NAKAMURA, Mitsumasa HIRANO, Yoshinobu KITTA, Tsuyoshi KOBAYASHI, Daisuke FUJIOKA, Yukio SAITO, Toshiaki YANO, Kazuhiro WATANABE, Yousuke WATANABE, Hideto MISHINA, Jun-ei OBATA, Ken-ichi KAWABATA, Kiyotaka KUGIYAMA	第二内科
Journal of cardiovascular pharmacology 56(4):369-378	Inhibition of secretory phospholipase A2 activity attenuates acute cardiogenic pulmonary edema induced by isoproterenol infusion in mice after myocardial infarction.	Ken-ichi KAWABATA, Daisuke FUJIOKA, Tsuyoshi KOBAYASHI, Yukio SAITO, Jun-ei OBATA, Takamitsu NAKAMURA, Toshiaki YANO, Kazuhiro WATANABE, Yousuke WATANABE, Hideto MISHINA, Kiyotaka KUGIYAMA	第二内科
Atherosclerosis 213(2):573-578	High plasma levels of macrophage migration inhibitory factor are associated with adverse long-term outcome in patients with stable coronary artery disease and impaired glucose tolerance or type 2 diabetes mellitus.	Aritaka MAKINO, Takamitsu NAKAMURA, Mitsumasa HIRANO, Yoshinobu KITTA, Keita SANO, Tsuyoshi KOBAYASHI, Daisuke FUJIOKA, Yukio SAITO, Kazuhiro WATANABE, Yousuke WATANABE, Ken-ichi KAWABATA, Jun-ei OBATA, Kiyotaka KUGIYAMA	第二内科
Journal of Medical Virology 82:390-395	Virus Clearance Reduces Bone Fracture in Postmenopausal Women With Osteoporosis and Chronic Liver Disease Caused by Hepatitis C Virus.	Yasuji A, Fumitaka S, Yoshiyuki S, Norio A, Masahiro K, Hitomi S, Tetsuya H, Yusuke K, Hiromi Y, Miharuru H, Kenji I, Shiun D H, Yuki O, Kazuhisa A, Hisahito K, Tamae K, Hiroshi T, Tetsuro K, and Hiromitsu K.	第三内科
Ann Clin Biochem 47: 313 - 317	Serum glycosylated albumin to haemoglobin A1C ratio can distinguish fulminant type 1 diabetes mellitus from type 2 diabetes mellitus.	Masafumi K, Jun M, Hiroshi S, Soji K, Akihisa I, Toshiaki H, Tetsuro K. et al.	第三内科
Molecular Endocrinology 24(6): 1267-1273	Runx2 Deficiency in Mice Causes Decreased Thyroglobulin Expression and Hypothyroidism.	Toyoshi E and Tetsuro K.	第三内科
The Journal of Biological Chemistry 285(32): 24477-24486	Liganded Thyroid Hormone Receptor- α Enhances Proliferation of Pancreatic β -Cells.	Fumihiko F, Hiroki S, Sayaka Y, Toyoshi E, and Tetsuro K.	第三内科
Diabetes 60: 884-889	RIG-I- and MDA5-Initiated Innate Immunity Linked With Adaptive Immunity Accelerates β -Cell Death in Fulminant Type 1 Diabetes.	Kaoru A, Yoriko N, Shoichiro T, Taro M, Akira S, Takuya A, Masako S, Hiroki S, Soichi T, Masashi I, Daiichiro A, Fumihiko F, Akio K, Masahiro K, Jun I, Hideki F, Toyoshi E, and Tetsuro K.	第三内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hepatology Research 2011.1-6.	Efficacy and safety in sitagliptin therapy for diabetes complicated by chronic liver disease caused by hepatitis C virus.	Yasuji A, Fumitake S, Mariko K, Yoshiyuki S, Yusuke K, Naoki M, Norio A, Norihisa I, Masahiro K, Hitomi S, Satoshi S, Tetsuya H, Kenji I, Hiromitsu K, Yuki O, Kazuhisa A, Hiroshi T, Shium D H, and Tetsurou K.	第三内科
Amyotroph Lateral Scler. 12: 39-44, 2011	Sympathetic sudomotor neural function in amyotrophic lateral sclerosis	Shindo K, Watanabe H, Ohta E, Nagasaka T, Shiozawa Z, Takiyama Y	神経内科
BMC Neurology.10: 21, 2010	Adult-onset Alexander disease with typical "tadpole" brainstem atrophy and unusual bilateral basal ganglia involvement: a case report and review of the literature.	Namokawa M, Takiyama Y, Honda J, Shimazaki H, Sakoe K, Nakano I:	神経内科
Exp Hematol. 2010;38 (12):1199-1208.	NF- κ B mediates aberrant activation of HIF-1 in malignant lymphoma.	Qiao Q, Nozaki Y, Sakoe K, Komatsu N, Kirito K.	血液・腫瘍内科
Psychiatry and Clinical Neurosciences 64 (6): 659-662	Chronic repetitive transcranial magnetic stimulation failed to change dopamine synthesis rate: Preliminary L-[β -11C]DOPA PET study in patients with depression.	Kuroda Y, Motohashi N, Ito H, Ito S, Takano A, Takahashi H, Nishikawa T, Sahara T	精神科
Visual Dermatology : 9(10):1022-1025	当科における巻き爪、陥入爪の治療について	山口 美由紀、原田 和俊、島田 眞路	皮膚科
Visual Dermatology : 9(8):804-805	キナーゼ阻害薬を中心に メシル酸イマチニブによる悪性黒色腫の治療	山口美由紀, 原田和俊 島田眞路	皮膚科
British Journal of Dermatology : 162(1):29-41. 2010	Intradermal Injections of Polyarginine-containing immunogenic Antigens Preferentially Elicit Tc1 and Th1 Activation and Antitumor Immunity.	Mitsui H, Okamoto T, Kanzaki M, Inozume T, Shibagaki N, Shimada S	皮膚科
Blood 117(18):4816-4825	Molecular identification of an MHC-independent ligand recognized by a human α / β T-cell receptor	Hanada K, Wang QJ, Inozume T, Yang JC.	皮膚科
Journal of Dermatological Science : 60:84-94. 2010	A novel immunotherapeutic approach to melanoma-bearing hosts with protein-transduction domain-containing immunogenic foreign antigens.	Shibagaki N, Okamoto T, Mitsui H, Inozume T, Kanzaki M, Shimada S.	皮膚科
Therapeutics : 9(8):2333-2343	Overexpression of GRIM-19 in Cancer Cells Suppresses STAT3-Mediated Signal Transduction and Cancer Growth. Molecular Cancer	Okamoto T, Inozume T, Mitsui H, Kanzaki M, Harada K, Shibagaki N, Shimada S.	皮膚科
Journal of Immunological Methods 366 366:43-51	Development of a genetically-modified novel T-cell receptor for adoptive cell transfer against renal cell carcinoma	Wang QJ, Hanada K, Feldman SA, Zhao Y, Inozume T, Yang JC.	皮膚科
JOURNAL OF IMMUNOTHERAPY 33(9):956-963	Selection of CD8+PD-1+ Lymphocytes in Fresh Human Melanomas Enriches for Tumor-reactive T Cells	Inozume T, Hanada K, Wang QJ, Ahmadzadeh M, Wunderlich JR, Rosenberg SA, Yang JC.	皮膚科
Disease of the Esophagus 23 (5) : 422-9	CCL17 and CCL22 Chemokines within Tumor Microenvironment are Related to Infiltration of Regulatory T Cells in TEsophageal Squamous Cell Carcinoma.	Takanori Maruyama, Koji Kono, Shinichirou Izawa, Yoshiaki Mizukami, Yoshihiko Kawaguchi, Kousaku Mimura, Mitsuaki Watanabe, and Hideki Fujii	消化器外科、乳腺・内分泌外科
British Journal of Cancer 103 : 552-559	Inverse correlation of HER2 with-MHC class I expression on esophageal squamous cell carcinoma.	Takanori Maruyama, Kousaku Mimura, Eiji Sato, Mitsuaki Watanabe, Yoshiaki Mizukami, Yoshihiko Kawaguchi, Takashi Ando, Hiroyuki Kinouchi, Hideki Fujii, Koji Kono	消化器外科、乳腺・内分泌外科
Cancer Science 101 (9) : 1947-1954	Distribution of Th17 cells and FoxP3(+) regulatory T cells in tumor-infiltrating lymphocytes, tumor-draining lymph nodes, and peripheral blood lymphocytes in patients with gastric cancer.	Takanori Maruyama, Koji Kono, Yoshiaki Mizukami, Yoshihiko Kawaguchi, Kousaku Mimura, Mitsuaki Watanabe, Shinichirou Izawa, and Hideki Fujii	消化器外科、乳腺・内分泌外科
Br J Cancer 102 (3) : 520-529	Interleukin-21 can efficiently restore impaired antibody-dependent cell-mediated cytotoxicity in patients with esophageal squamous cell carcinoma.	Mitsuaki Watanabe, Koji Kono, Yoshihiko Kawaguchi, Yoshiaki Mizukami, Kousaku Mimura, Takanori Maruyama, and Hideki Fujii	消化器外科、乳腺・内分泌外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Disease of the Esophagus 23 (8) : 675-681	NK cell dysfunction with down-regulated CD16 and up-regulated CD56 molecules in patients with esophageal squamous cell carcinoma.	Mitsuaki Watanabe, Koji Kono, Yoshihiko Kawaguchi, Yoshiki Mizukami, Kousaku Mimura, Takanori Maruyama, Shinichiro Izawa, and Hideki Fujii	消化器外科、乳腺・内分泌外科
Mol Cancer 9 : 74-84	Gene expression in nontumoral liver tissue and recurrence-free survival in hepatitis C virus-positive hepatocellular carcinoma.	Tsuchiya M, Parker JS, Kono H, Matsuda M, Fujii H, Rusyn I	消化器外科、乳腺・内分泌外科
Nutrition 27 (2) : 146-152	Immunonutritional diet modulates natural killer cell activation and Th17 cell distribution in patients with gastric and esophageal cancer.	Maruyama T, Mimura K, Izawa S, Shiba S, Watanabe M, Kawaguchi Y, Fujii H, Kono K	消化器外科、乳腺・内分泌外科
Journal of Surgical Research 165:59-67	Liver Regeneration is Impaired in Macrophage Colony Stimulating Factor Deficient Mice After Partial Hepatectomy: The Role of M-CSF-induced Macrophages.	Hidetake Amemiya, Hiroshi Kono, Hideki Fujii	消化器外科、乳腺・内分泌外科
International Journal of Cancer (Epub ahead of print)	Lapatinib inhibits receptor phosphorylation and cell growth and enhances antibody dependent cellular cytotoxicity (ADCC) of EGFR and HER2 over-expressing esophageal cancer cell lines.	Kousaku Mimura, Koji Kono, Takanori Maruyama, Mitsuaki Watanabe, Shinichiro Izawa, Shugo Shiba, Yoshiki Mizukami, Yoshihiko Kawaguchi, Masayuki Inoue, Tetsuo Kono, Aniruddha Choudhury, Rolf Kiessling, Hideki Fujii	消化器外科、乳腺・内分泌外科
Journal of surgical research (Epub ahead of print)	Interleukin-17A plays a pivotal role in polymicrobial sepsis according to studies using IL-17A knockout mice.	Masahito Ogiku, Hiroshi Kono, Michio Hara, Masato Tsuchiya, and Hideki Fujii	消化器外科、乳腺・内分泌外科
Journal of Gastroenterology and Hepatology (Epub ahead of print)	Lens culinaris agglutinin-reactive fraction of AFP is a useful prognostic biomarker for survival after repeat hepatic resection for HCC.	Matsuda M, Asakawa M, Amemiya H, Fujii H	消化器外科、乳腺・内分泌外科
Cardiovascular Toxicology: 10 (4) 275-282	In Vivo Canine Model Comparison of Cardiovascular Effects of Antidepressants Milnacipran and Imipramine	Yoshitaka MITSUMORI, Yuji NAKAMURA, Kiyotaka HOSHII, Yukitoshi NAGAYAMA, Satomi ADACHI, AKAHANE, Schuichi KOIZUMI, Masahiko MATSUMOTO, Atsushi SUGIYAMA	第二外科
Knee. 17:424-427, 2010	Intraarticular nodular facilities causing limitation of knee extension.	Iigino T, Ochiai S, Sato E, Watanabe Y, Senga S, Kondo T, Haro H	整形外科
Arch Orthop Trauma Surg. 130:397-399, 2010.	Health-related quality of life in patients with an anterior cr	Ochiai S, Iigino T, Tonotsuka H, Haro H	整形外科
J Neurosurg 113:940-946	Effectiveness of epidural blood patch for patients with intracranial hypotension and persistent spinal epidural fluid collection after treatment.	Horikoshi T, Watanabe A, Uchida M, Kinouchi H.	脳神経外科
Brain and Nerve 62 : 165-171	脳槽シンテグラフィーにおけるトレーサークリアランスと年齢	浅利泰広、堀越 徹、内田幹人、木内博之	脳神経外科
J Neurosurg Pediatric 6: 600-603,	A cortical dysembryoplastic neuroepithelial tumor initially occurring in the periventricular white matter.	Kawataki T, Sato E, Kato T, Sato T, Horikoshi T, Kinouchi H.	脳神経外科
J Neurosurg Pediatrics 5:622-625,	Clear cell meningioma causing Castleman syndrome in a child.	Sato T, Sugiyama T, Kawataki T, Sato E, Horikoshi T, Sugita K, Kinouchi H	脳神経外科
日本脳神経外科救急学会機関誌 Neurosurgical Emergency15 : 142-148,	脳脊髄液減少症研究会ガイドラインによる外傷性および特発性脳脊髄液減少症の相違について	堀越 徹、三塚健太郎、内田幹人、木内博之	脳神経外科
J Clin Endocrinol Metab	The Association of Preoperative Glycemic Control, Intraoperative Insulin Sensitivity, and Outcomes after Cardiac Surgery	Hiroaki SATO George Carvalh o Tamaki SATO Ralph Latterma nn Takashi MATSUKAWA Thomas Schricker	麻酔科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Neurosurg Anesthesiol	Cerebral Pial Vascular Changes Under Propofol or Sevoflurane Anesthesia During Global Cerebral Ischemia and Reperfusion in Rabbits	Tadahiko ISHIYAMA Kazuhiro SHIBUYA Manabu ICHIKAWA Taishi MASAMUNE Riko KIUCHI Daniel I. Sessler Takashi MATSUKAWA	手術部
ANESTHESIA & ANALGESIA	Perioperative Glucose and Insulin Administration While Maintaining Normoglycemia (GIN Therapy) in Patients Undergoing Major Liver Resection	Hiroaki SATO Ralph Lattermann George Carvalho Tamaki sato Peter Metrakos Mazen Hassanain Takashi MATSUKAWA	麻酔科
Nutrition	Perioperative tight glucose control with hyperinsulinemic-normoglycemic clamp technique in cardiac surgery	Hiroaki SATO George Carvalho Tamaki Sato David Bracco Takumi Codere-Maruyama Ralph Lattermann Roopen Hatzekozian Takashi MATSUKAWA Thomas Schrieker	麻酔科
日本母性衛生学会雑誌, 52(1):44-49	院内助産システムの今後-第51回日本母性衛生学会学術集会シンポジウム[3]より-当院で行っている助産師教育ならびに資格認定と今後の展望	平田修司, 奥田靖彦, 小室真祐子	産婦人科 地域周産期等医療学
Nihon Rinsho Meneki Gakkai Kaishi, 33(6):287-292	The role of pregnancy associated progenitor cells in the regeneration of injured maternal organs.	Sunani R, Hirata S.	産婦人科
J Reprod Immunol, 86(1):43	Fetal derived cells in the maternal organs are eliminated by maternal immune system after mid gestation.	Sunani R, Hirata S.	産婦人科
山梨産科婦人科学会雑誌, 1(1):17-21	分娩時出血の低減を目的とした予防的オキシトシン筋肉内注射の有用性について	深澤喜直, 鶴田幸雄, 鶴田純子, 平田修司	産婦人科
日本産科婦人科学会関東連合地方部会誌 47(4):391-397	前置癒着胎盤に対して総腸骨動脈 balloon occlusion(CIABO)併用による Cesarean hysterectomyを施行した2例	須波玲, 小室真祐子, 大木麻喜, 小笠原英理子, 正田朋子, 大森真紀子, 奥田靖彦, 平田修司	産婦人科 地域周産期等医療学
Hormone Frontier in Gynecology 17(4):341-348	精子形成とエピジェネティクス	多賀谷光, 平田修司	産婦人科
Chimerism, 1(2):1-3	Migration of microchimeric fetal cells into maternal circulation before placenta formation.	Roi S, Mayuko K, Hikaru T, Shuji H	産婦人科 地域周産期等医療学
CELLULAR REPROGRAMMING, 13(1):7-11	Generation of Healthy Cloned Mice Using Enucleated Cryopreserved Oocytes.	Shuji H, Hiroko F, Sayaka W, Teruhiko W, Kazuhiko H.	産婦人科
山梨産科婦人科学会雑誌, 1(2):16-22	頸管縫縮術の適応と有効性	渡邊直子, 川島由加里, 平田希, 菊嶋 聡子, 平田修司	産婦人科
International Journal of Urology, 17(5):397-409, 2010	Guidelines Clinical guidelines for nocturia	Osamu Nishizawa, Isao Araki, Osamu Ishizuka, Naohisa Uchiyama, Hitoshi Oh-oka, Seichiro Ozono, Hidehiro Kakizaki, Masato Kasehara, Momokazu Gotoh, Ryuji Sakakibara, Hitoshi Shinbo, Kimio Sugaya, Yasuyuki Suzuki, Atsushi Sone, Mineo Takeda, Masayuki Takeda, Akihide Hirayama, Yukio Honma, Osamu Yamaguchi, Tomonori Yamanishi, Osamu Yokoyama, Masaki Yoshida	泌尿器科
Journal of Pharmacological Sciences, 112(2):121-127, 2010	The forefront for novel therapeutic agents based on the pathophysiology of lower urinary tract dysfunction: pathophysiology of voiding dysfunction and pharmacological therapy	Masayuki Takeda, Isao Araki, Tsutomu Mochizuki, Hiroshi Nakagomi, Hideki Kobayashi, Norifumi Sawada, Hidenori Zakoji	泌尿器科
Urology, 77:60-64, 2011.	Female Urology Assessment of overactive bladder symptoms: comparison of 3-Day bladder diary and the overactive bladder symptoms score	Yukio Honma, Hidehiro Kakizaki, Osamu Yamaguchi, Tomonori Yamanishi, Osamu Nishizawa, Osamu Yokoyama, Masayuki Takeda, Narihito Seki, Masaki Yoshida	泌尿器科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Video library of the American Urological Association 2010	Operative difficult points in the Laparoscopic adrenalectomy for giant pheochromocytoma: Comparison between right and left sides	Hideyasu Inuzuka, Isao Araki, Takayuki Tsuchida, Syouji Kudou, Masayuki Takeda	泌尿器科
LUTS, 3:29-35, 2011	A 12-Week Rndomized, Double-Blind, Placebo-Controlled, Parallel-Group, Multicenter, Dose-Finding Study to Assess the Efficacy, Safety, and Tolerability of Fesoterodine in Asian Patients with Overactive Bladder.	Osamu Yamaguchi, Osamu Nishizawa, Masayuki Takeda, Masaki Yoshida, Myung-Soo CHOO, Jeong Gu LEE, Alex Tong-Long LIN, Ho-Hsiung LIN, Wai-chun Andrew YIP, Hitoshi ISOWA, Shintaro HIROSE	泌尿器科
LUTS, 3:39-40, 2011	Randomized Controlled Trial to Treat Benign Prostatic Hyperplasia with Overactive Bladder Using an Alpha-blocker Combined with Anticholinergics,	Osamu Nishizawa, Osamu Yamaguchi, Masayuki Takeda, Osamu Yokoyama for the TAABO Study Group	泌尿器科
BJU Int., 2011 (Epub Ahead)	Predictive factors for the effect of alpha-D/A adrenoceptor antagonis, Naftopidil, on subjective and objective factors in patients with neurogenic lower urinary tract dysfunction.	Masayuki Takeda, Yukio Homma, Isao Araki, Hidehiro Kakizaki, Tomonori Yamanishi, Takashi Yokota, Momokazu Gotoh, Yasuhiko Igawa, Narihito Seki, Mineo Takoi, Masaki Yoshida, Kinio Sugaya, Osamu Nishizawa. The Japanese Naftopidil Neurogenic Lower Urinary Tract Dysfunction Study Group	泌尿器科
Urology, 2011 (EpubAhead).	Ejaculation disorder is associated with increased efficiency of Silodosin for benign prostatic hyperplasia	Yukio Homma, Kazuki Kawabo, Masayuki Takeda, Masaki Yoshida	泌尿器科
Urology, 2011 (Epub Ahead)	Solifenacin as add-on therapy for overactive bladder symptoms - ASSIST, randomized controlled study -	Osamu Yamaguchi, Hidehiko Kakizaki, Yukio Homma, Masayuki Takeda, Osamu Nishizawa, Momokazu Gotoh, Osamu Yokoyama, Narihito Seki, Masaki Yoshida on behalf of the ASSIT Study Group	泌尿器科
LUTS, 2011 (Epub Ahead)	Early Efficacy of an Alpha-Adrenocepto Antagonist, Naftopidil, aginst Lower Urinary Tract Symptoms Suggestive of Benign Prostatic Hyperplasia.	Osamu Ishizuka, Osamu Nishizawa, Masayuki Takeda, Teruhisa Nomura, Susumu Kagawa	泌尿器科
泌尿器外科、23(10):1443-1452、2010	過活動膀胱患者に対するイミダフェナシンの夜間頻尿改善効果は睡眠障害およびQOL改善に貢献する (EVOLUTION Study)	武田正之、高橋梧、西澤理、後藤百万、吉田正貴、舛森直哉	泌尿器科
臨床泌尿器科、64(5):350-350、2010	腹腔鏡下腎盂形成術と同時に施行した軟性膀胱鏡を用いた腎盂切石術	座光寺秀典、武田正之	泌尿器科
日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会雑誌、2(1):79-84、2010	腎腫瘍に対する腎部分切除式の検討: ミニマム創手術と体腔鏡下手術の比較	野村照久、菅沼賢司、山岸敬、間庭章光、中込宙史、三神裕紀、座光寺秀典、土田孝之、荒木勇雄、武田正之	泌尿器科
泌尿器外科、23(5):683-688、2010	腎部分切除: ミニマム創内視鏡下手術 VS 体腔鏡下手術	野村照久、菅沼賢司、山岸敬、間庭章光、中込宙史、三神裕紀、座光寺秀典、土田孝之、荒木勇雄、武田正之	泌尿器科
腎と透析、68(3):423-435、2010	血液透析患者の腎性貧血に対するKR321(ダルベポエチンアルファ)静脈内投与の有効性および安全性 -KR321第III相臨床試験-	秋澤忠男、石田裕剛、松 則明、飯塚正、浅野泰、本間寿英子、若松良二、渡邊陸、衣笠えり子、深澤瑞也、笠原寛、小口智雅、成瀬友彦、福熊大城、鶴田良成、山本茂生、瀧正史、髙島正樹、原田悠実、平方秀樹、塚本雄介、内田英二、岩崎学	泌尿器科
The Journal of the Institute of Electrical Engineers of Japan (電気学会論文誌)、130(3):401-406、2010	Elemental Study on Auscultaiting Diagnosis Support System of Hemodialysis Shunt Stenosis by ANN ANNを用いた透析シャント音による狭窄診断支援システムの要素研究	鈴木裕、深澤瑞也、森鷹浩、阪田治、服部遊、加藤隆也	泌尿器科
The Intstitute of Electrical Engineers of Japan 電気学会論文誌C 131(1):160-166、2011	An auscultaiting diagnosis support system for assessing hemodialysis shunt stenosis by using self-organizing map 自己組織化マップを用いた透析シャント音による狭窄診断支援装置	鈴木裕、深澤瑞也、阪田治、加藤初弘、服部遊、加藤隆也	泌尿器科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Open Ophthalmol J 28:4-11	Changes in trend of newly prescribed anti-glaucoma medications in recent nine years in a Japanese local community	Kashiwagi K	眼科
Am J Ophthalmol 149:826-30	Estrogen receptor beta gene polymorphism and intraocular pressure elevation in female patients with primary open-angle glaucoma	Mabuchi F, Sakurada Y, Kashiwagi K, Yamagata Z, Iijima H, Tsukahara S	眼科
PNAS 107:E90-E91	Lack of association of common variants on chromosome 2p with primary open-angle glaucoma in the Japanese population.	Mabuchi F, Sakurada Y, Kashiwagi K, Yamagata Z, Iijima H, Tsukahara S	眼科
Retina 30:1616-1621	Association of LOC387715 A69S genotype with visual prognosis after photodynamic therapy for polypoidal choroidal vasculopathy	Sakurada Y, Kubota T, Imasawa M, Mabuchi F, Tanabe N, Iijima H	眼科
Jpn J Ophthalmol 54:578-83	Retinal thickness and perimetric sensitivity in central serous chorioretinopathy	Sekine A, Imasawa M, Iijima H	眼科
Head Neck	Resistance to apoptosis-inducing stimuli in CD44+ head and neck squamous cell carcinoma cells	Chikamatsu K Ishii H Takahashi G Okamoto A Masuyama K 2 et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Int Arch Allergy Immunol	Immune regulation by CD4+CD25+ regulatory T cells in patients with japanese cedar pollinosis	Yamanishi T Chikamatsu K Takahashi G Endo S Masuyama K	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Head Neck 33(2):208-215	Immunoregulatory properties of CD44+ cancer stem-like cells in squamous cell carcinoma of the head and neck.	Chikamatsu K Takahashi G Sakakura K Ferrone S Masuyama K	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
山梨医学 38:107-111	Endoscopic mucosal resection with cap (EMRC)を行った下咽頭表在癌の1例	大高雅彦、三浦美香、高橋英、佐藤公、榎本信幸、岡本篤司、水越昭仁、田中翔太、黒田優英、森山元大、増山敬祐	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Allergology International 59(3):313-319	TGF-β signaling may play a role in the development of goblet cell hyperplasia in a mouse model of allergic rhinitis.	Ouyang Y, Miyata M, Hatsushika K, Ohnuma Y, Katoh R, Ogawa H, Okumura K, Masuyama K, Nakao A	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
日本耳鼻咽喉科学会誌 49(2):127-131	花粉暴露室 (OHIO Chamber) での花粉暴露前後の肺機能の変化についての検討	橋口一弘 末松潔親 増山敬祐 遠藤周一郎 後藤穰 その他1名	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
口咽科 23(2):201-206	当科における耳下腺腫瘍の臨床統計	石井裕貴 遠藤周一郎 松岡伴和 増山敬祐	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
日本耳鼻咽喉科感染症研究会誌 28(1):79-82	エンドーシスの有用性に対するアンケート調査	田中翔太 上條 篤 初鹿恭介 山本卓典 増山敬祐 他1名	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
日本耳鼻咽喉科感染症研究会誌 28(1):83-87	細菌学的検討によるエンドーシスの評価	上條 篤 田中翔太 遠藤周一郎 森山元大 増山敬祐 その他4名	耳鼻咽喉科・頭頸部外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Oral Oncol 46(5):373-378	Primary tumor induces sentinel lymph node lymphangiogenesis in oral squamous cell carcinoma.	Ishii H Chikamatsu K Sakakura K Miyata M Furuya N Masuyama K	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
JOURNAL OF COMPUTER ASSISTED TOMOGRAPHY, 34(2):217-222	Epidermoid Cyst in Intrapancreatic Accessory Spleen: Radiological Findings Including Superparamagnetic Iron Oxide-Enhanced Magnetic Resonance Imaging	Motosugi U, Yamaguchi H, Ichikawa T, Sano K, Araki T, Takayama Y, Shimizu K, Hatori T, Shiratori K, Koyama I, Shimizu M	放射線科
EUROPEAN JOURNAL OF RADIOLOGY, 73:510-517	Thin-section CT of the mediastinum in preoperative N-staging of non-small cell lung cancer: Comparison with FDG PET	Nanbu A, Katou S, Motosugi U, Araki T, Okuwaki H, Nishikawa K, Saitou A, Matsumoto K, Ichikawa T	放射線科
Jpn J Radiol, 28:251-258	Localized mucinous bronchioloalveolar carcinoma of the lung: thin-section computed tomography and fluorodeoxyglucose positron emission tomography findings.	Sawada E, Nanbu A, Motosugi U, Araki T, Katou S, Satou Y, Saitou A, Ishihara H, Okuwaki H, Ozawa K, Nishikawa K, Miyazawa M, Yata K	放射線科
Magnetic Resonance in Medical Sciences, 9(3):109-110	q-space Imaging(QSI) of the Brain: Comparison of Displacement Parameters by QSI and DWI	Fatima Z, Motosugi U, Hori M, Shigane K, Kumagai H, Ikenaga S, Onodera T, Yagi K, Araki T	放射線科
CHILDS NERVOUS SYSTEM, 26:1121-1124	Time-resolved contrast-enhanced magnetic resonance digital subtraction angiography (MRDSA) in an infant with congenital pial arteriovenous fistula in the brain: a case report	Fatima Z, Ishigane K, Hori M, Araki T	放射線科
Japan Radiological Society, 28:623-627	Magnetic resonance elastography of the Liver: preliminary results and estimation of inter-rater reliability	Motosugi U, Ichikawa T, Sano K, Sou H, Muhi A, Koshiishi T, Richard L, Ehman, Araki T	放射線科
Clinical Radiology, 66:108-111	Magnetic resonance diffusion-weighted imaging in the characterization of pancreatic mucinous cystic lesions	Fatima Z, Ichikawa T, Motosugi U, Muhi A, Sou H, Haradome H, Kiryu S	放射線科
山梨肺癌研究会, 23: 19-24. 2010.	原発性肺癌患者に対する定位放射線治療後の局所再発危険因子となる治療前CT所見の検討。	澤田栄一, 南部敬史, 大西洋, 青木真一, 栗山健吾, 荒屋正幸, 齋藤 亮, 前島良康, 荒木 力, 小宮山貴史, 萬利乃寛	放射線科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Japan Interventional Radiology, 25:194-198	拍動流を有する多目的簡易血管モデルシステムの検討.	荒木拓次, 岡田大樹, 木村一史, 坂本 肇, 荒木 力	放射線科
膝臓, 26(1):72-78	膝疾患におけるMR拡散強調画像:有用性、限界と新たな展開.	本杉宇太郎, 市川智章, 荒木力	放射線科
臨床放射線, 56(1):45-51	原発性非小細胞肺癌の定位放射線治療前の ²⁰¹ Tl-SPECTおよびFDG-PET所見と局所再発の関係	富永理人, 大西 洋, 南部敦史, 澤田栄一, 奥石強太, 梅田貴子, 青木真一, 栗山健吾, 佐野尚樹, 加藤 聡, 佐藤葉子, 荒木 力	放射線科
臨床画像, 27(3):296-301	乏血性肝細胞癌診断におけるGd-EOB-DTPAの有用性	佐野勝廣, 市川智章	放射線科
臨床消化器内科, 26(1):57-68	特集up-to-date CT, MRI/MRCP	森阪裕之, 市川智章, 曹 博信, 本杉宇太郎, 佐野勝廣, 荒木 力	放射線科
JOURNAL OF BIOLOGICAL CHEMISTRY, 285(32), 24494-24507	Essential in vivo roles of the c-type lectin receptor CLEC-2: Embryonic/neonatal lethality of CLEC-2-deficient mice by blood/lymphatic misconnections and impaired thrombus formation of CLEC-2-deficient platelets.	Katsue Suzuki-Inoue, Osamu Inoue, Guo Ding, Satoshi Nishimura, Kazuya Ito, Koji Eto, Hirokazu Kashiwagi, Yoshiaki Tomiyama, Yutaka Yatomi, Kazuo Umemura, Yonchol Shin, Masanori hirashima, and Yukio Ozaki	臨床検査医学講座
Contrib Nephrol 166:83-92, 2010	Efficacy of Continuous Hemodiafiltration with a Cytokine-Adsorbing Hemofilter in the Treatment of Acute Respiratory Distress Syndrome.	Matsuda K, Moriguchi T, Oda S, Hirasawa H	救急集中治療医学講座
Journal of The Japan Society for Welfare Engineering日本福祉工学会 12(1):43-48, 2010	Robust Bowel Sound Recording for Long-term Monitoring of Digestive Activity 長時間消化活動モニタリングのためのロバスト腸音計測システム.	阪田 治, 鈴木 裕, 松田 兼一, 佐竹 隆顕	救急集中治療医学講座
HUMAN PATHOLOGY 41(11):1550-1557, 2010	Hypoxia-inducible adenosine A2B receptor modulates proliferation of colon carcinoma cells	Dof MA Tetsuo KONDO Tadao NAKAZAWA Niu DONGFENF Kunio MOCHIZUKI Tomonori KAWASAKI Tetsu YAMANE Ryohei KATOH	人体病理学 (病理診断科)
JOURNAL OF ENDOCRINOLOGY 207(1):17-25, 2010	Polyclonal origin of hormone-producing cell populations evaluated as a direct in situ demonstration in EGFP/BALB/C chimeric mice	De-Fu Ma Katsuko SUDO Hideo TEZUKA Tetsuo KONDO Tadao NAKAZAWA Niu DONGFENF Tomonori KAWASAKI Kunio MOCHIZUKI Tetsu YAMANE Ryohei KATOH	人体病理学 (病理診断科)
HISTOPATHOLOGY 57(3):444-450, 2010	RET rearrangements and BRAF mutation in undifferentiated thyroid carcinomas having papillary carcinoma components	Kunio MOCHIZUKI Tetsuo KONDO Tadao NAKAZAWA Masanori IWASHINA Tomonori KAWASAKI Sobuki NAKAMURA Tetsu YAMANE Shin-ichi MURATA Koichi ITO Ryohei KATOH	人体病理学 (病理診断科)
HISTOLOGY AND HISTOPATHOLOGY 340(3):471-479, 2010	Differential tissue expression of enhanced green fluorescent protein in 'Green mice'	Def MA Hideo TEZUKA Tetsuo KONDO Katsuko SUDO Niu DONGFENF Tadao NAKAZAWA Tomonori KAWASAKI Tetsu YAMANE Sobuki NAKAMURA Ryohei KATOH	人体病理学 (病理診断科)
CELL AND TISSUE RESEARCH 340(3):471-479, 2010	Laminar high shear stress up-regulates type IV collagen synthesis and down-regulates MMP-2 secretion in endothelium. A quantitative analysis	Tetsu YAMANE Masako MITSURATA Tadao NAKAZAWA Kunio MOCHIZUKI Tetsuo KONDO Tomonori KAWASAKI Shin-ichi MURATA Teiji YOSHIDA Ryohei KATOH	人体病理学 (病理診断科)
JOURNAL OF CLINICAL PATHOLOGY 63(5):469-469	Giant oesophageal liposarcoma mimicking spindle cell liposarcoma and containing eosinophilic cells with rhabdomyoblastic differentiation	Tadao NAKAZAWA Tetsuo KONDO Niu DONGFENF Def MA Kunio MOCHIZUKI Tomonori KAWASAKI Yoshihiko KAWAGUCHI Isiji KONO Hideo FUJII Ryohei KATOH	人体病理学 (病理診断科)

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の年年度に発表したもののうち高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるに限る)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 島田 眞路
管理担当者氏名	総務課長 市川 雅一、医事課長 相川 勝則、病院経営企画室長 山田 芳男

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書、手術記録、エックス線写真 看護記録 処方せん 各科診療日誌、		病歴室 看護部 薬剤部 各診療科	カルテ及び検査所見記録等は 1 患者 1 ファイルで、すべて病歴室で一元管理している。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	病院の管理及び運営に関する諸記録は、左の保管場所で保管管理している。	
	高度の医療の提供の実績	医事課		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課		
	高度の医療の研修の実績	総務課		
	閲覧実績	総務課		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課		
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部		
	第規一則	医療に係る安全管理のための指針の整備状況		安全管理室
	号第一	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		安全管理室
	掲条	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		安全管理室
	げの	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		安全管理室
	十	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況		安全管理室
	体一	専任の院内感染対策を行う者の配置状況		感染制御室
制第	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	安全管理室		
一	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	安全管理室		
確				
保各				
の号				
状及				
況				
第九				
条の				
二十一				
三第				
一第				
項				

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則	院内感染のための指針の策定状況	感染制御室
	第一条	院内感染対策のための委員会の開催状況	総務課
	第十一条	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	総務課
	第一項	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御室
	各号及び第九條	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
	第九條	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
	第二十三條	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
	第一項	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
	に掲げる体制の確保の状況	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	MEセンター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	MEセンター
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	MEセンター
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	MEセンター	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 島田 眞路
閲覧担当者氏名	総務課長 市川 雅一、医事課長 相川 勝則、病院経営企画室長 山田 芳男
閲覧の求めに応じる場所	総務課、医事課、病院経営企画室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	4件
閲覧者別	医師	延 件
	歯科医師	延 件
	国	延 1件
	地方公共団体	延 3件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	75.7 %	算定期間	平成22年4月 1日～平成23年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数		11,230人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		5,620人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		801人
	D：初診の患者の数		17,695人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 医療機関における安全管理に関する基本的考え方<ul style="list-style-type: none">・医療安全の基本的考え方(2) 医療機関に係る安全管理のための委員会その他医療機関内の組織に関する基本的事項<ul style="list-style-type: none">・安全管理の体制を確保するために、安全管理委員会及び安全管理室の設置・医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の設置・安全管理のための責任者（リスクマネジャー）を定め、病院の安全管理の体制確保に努める(3) 医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本方針<ul style="list-style-type: none">・安全体制の確保のために、職員研修の企画・実施(4) 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針<ul style="list-style-type: none">・「医療事故等発生報告書」「状況報告書」「インシデントレポート」の入力、報告及び対策・安全管理のためのマニュアルを整備し、安全管理委員会に届け出る(5) 医療事故等発生時の対応に関する基本方針<ul style="list-style-type: none">・事故発生時の対応マニュアルの整備および事故発生時の対応(6) 医療従業者と患者との間の情報の共有に関する基本方針（患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針を含む。）<ul style="list-style-type: none">・患者への情報提供(7) 患者からの相談への対応に関する基本方針<ul style="list-style-type: none">・患者相談対応	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 13 回
<p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 安全管理体制の整備、安全管理のためのマニュアル整備(2) 医療事故等の防止及び発生時の対応(3) 使用する医薬品、医療機器の安全管理(4) 安全管理のための職員研修(5) 患者に重篤な傷害が生じた場合の対応、原因分析、改善策の立案・実施、職員への周知(6) 立案した改善策の実施状況の調査及び見直し。(7) 医療従事者と患者との情報の共有(8) 患者からの相談への対応	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 9 回
<p>・研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 安全管理体制講演会・・・3回(2) 医療安全活動報告会・・・2回(3) 事例検討会・・・4回	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 『インシデントレポートシステム』による運用を行っており、インシデントレポートの第 1 報が入力されると、あらかじめ決められた安全管理室員（①室員）が内容を把握し、関連する部門のリスクマネジャーに情報を伝える。情報を受けた各リスクマネジャーはインシデントの状況確認及び原因	

の詳細説明、再発防止策を検討し、第2報として報告する。第2報は、担当する安全管理室員（②室員）が内容を検討し、内容が不十分な場合は担当のリスクマネージャーに差し戻し再検討を依頼する。十分の場合は保存レポートとして終了する。

(2) 提出された内容に基づき、重要事例について安全管理委員会及び安全管理室会議において組織としてのインシデントの分析及び問題点を検討する。必要に応じて部署事例検討会を開催し、より実践に即した具体的分析・検討を行う。

(3) 上記で検討された内容に対し、重要事例について安全管理室会議、安全管理委員会で改善策が検討され、その結果はリスクマネージャー会議で報告及び意見交換され、「リスクマネージャー会議便り」として各部署に報告・周知を行ない実行に移している。特に重要と考えられるインシデントについては、インシデント内容、改善策等をリスクマネージャーニュースとして発行し周知徹底している。また必要に応じてゼネラルリスクマネージャーが直接指導し実行に移している。

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (2名)・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の設置状況	有 (1名)・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無

・所属職員： 専任（ 2 ）名 兼任（ 25 ）名

・活動の主な内容：

- (1) 安全管理委員会及び医療事故調査委員会に関する事項
- (2) 事故等に関する診療録及び看護記録等への記載が正確かつ十分にされているかの確認及び必要な指導
- (3) 事故発生時の患者及び家族への対応状況の確認及び必要な指導
- (4) 事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認及び必要な指導
- (5) 医療安全に係る連絡調整に関する事項
- (6) インシデントレポート及び状況報告書の確認
- (7) インシデント等に関する調査及び分析
- (8) 改善策の検討及び策定
- (9) 職員に対する情報提供
- (10) 改善策の実施状況の監視及び指導
- (11) 医療事故防止マニュアルの見直し
- (12) 安全対策に関する教育の企画及び実施

⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無
--------------------------------------	-----

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：委員会等の整備，感染対策マニュアルの整備，リンクドクター・リンクナースの配置，院内感染発生時の対応，インフォームドコンセントについて，報告の義務，職員研修の実施，指針の閲覧に関する事項など</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<p>・ 活動の主な内容：①定例会議・緊急会議の開催 ②感染症サーベイランスの実施・評価 ③感染症アウトブレイク ④感染対策の実施状況の調査・指導 ⑤感染対策に関する教育啓蒙活動(職員・学生) ⑥感染コンサルテーション ⑦職員への職業感染対策推進 ⑧感染対策に関する情報収集 ⑨感染性廃棄物処理の監視及び指導 ⑩感染対策マニュアルの更新</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回
<p>・ 研修の主な内容：①「新型インフルエンザ：第1波の総括と第2波にむけて」 ②「事例から学ぶ感染対策 - アウトブレイクから始まった感染制御の経験から - 」</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 ○ (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>①感染対策委員会・感染制御室会議・感染対策チーム会議における方策の検討・決定・実施</p> <p>②院内ラウンドの実施及び指導</p> <p>③感染対策チーム員を通して重要事項を各部署へ伝達するとともに、各部署からの意見・質問を収集し会議で検討する。</p> <p>④感染対策マニュアルの見直し・改定</p>	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全のため責任者の配置状況	有 無
② 従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年4回
<p>・研修の主な内容</p> <p>・研修の主な内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新採用者職員研修 2 褥瘡講習会（看護師） 3 処方せんの書き方に関する講習会（全職員） 4 外来抗がん剤治療時の処方（院外処方応需薬局） 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・手順書の作成 （有 ・ 無）</p> <p>・業務の主な内容：</p> <p>医薬品安全管理手順書を医薬品安全管理小委員会で見直し、検討を行う。 医薬安全管理手順書どおり業務が行われているか、年2回チェックする。</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策	
<p>・医薬品に係る情報の収集の整備 （有 ・ 無）</p> <p>1 その他の改善のための方策の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品情報室に専任の薬剤師を配置している。 ・ 機構のホームページにて最新の添付文書を閲覧している。 ・ MRに変更添付文書の提出を依頼している。 ・ 調剤棚や注射薬棚に添付文書を保管し、薬品補充時に添付文書変更があれば差し替えている。 ・ 企業より添付文書集を入手し、D I 室および調剤室に保管している <p>2 周知方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 薬剤部にて医薬品情報やD I - B O Xなどの情報誌に編集し、院内・医療関係者に配布している。この情報はオーダーリングシステムの電子掲示板に掲載し、バックナンバーを参照できるようにしている。 ・ 特定の診療科に対して重要な情報は、当該診療科にはより詳細な情報を提供している。 ・ 重大な副作用発現など重大な情報は、これまでに使用した医師を処方歴から調査し、医師個人宛に情報提供している。 ・ 病院全体に提供すべき重大な情報について、既読者リストを貼付し、情報を読んだ者の氏名を記載してもらい返送をお願いし、未読者に連絡する。 ・ 医薬品集を定期的に発行している。 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のため責任者の配置状況	有 無
② 従事者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 25 回
<p>・研修の主な内容 使用方法、警報発生時の対処方法、始業前点検事項、安全機構、故障・不具合発生時の対応</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・計画の作成 (有・無)</p> <p>・保守点検の主な内容： 外観検査、機能条件検査、機械的検査、電気的検査、安全性検査、消耗部品交換</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策実施状況	
<p>・医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容 1. インシデントレポート 2. リスクマネジャー会議だより 3. MEセンターからのお知らせ</p>	